

多摩丘陵や下末吉台地は、下部に海成の堆積層があり、この上を下末吉ロームが被覆している。海進で、海が古い地層を削り込んでおり、このときに当時の汀線に相当する位置に礫が堆積していると考えられる。汀線の位置や、海が退く時の離水面の対比ができれば、その標高差を追跡することで、離水面形成以降の地形の変動を知ることができる。図5-1に下末吉台地を例にして段丘の発達と調査方法を示す。

多摩ローム

上総層群

礫の堆積

汀線

下末吉海進

多摩ローム

上総層群

下末吉ローム

離水面

海退

横濱市ボーリング
データベースを
活用した旧汀線
位置の調査

多摩ローム

上総層群

下末吉ローム

武蔵野
ローム

データベースで得られる情報は（図５－２）、主に建築基礎調査のためのボーリングの情報であるため、地質の記載が不十分であることが多い。ただし、建築基礎ボーリングでも礫に当たれば、“礫”と記載されるであろうから、“礫”と記載されているボーリングを見つける事を目標として、これから旧汀線の標高を求める。

[illegible]

2 - 5

地震ネット番号	区 名	施 設 名	座 標
1 1 7	都 築 区	勝田消防出張所	X: -50842, 050 Y: -21841, 463
住所: 横浜市都築区勝田町1091号			標高 T. P. +11.86m

調査位置図 (縮尺 s = 1 : 25, 000)



地形・地質概要

本調査地は、横浜市営地下鉄線仲台町駅の北約1kmの低平な早渕川低地に位置する。早渕川低地は早渕川流域に発達する狭長な谷底低地で、周辺台地とは崖あるいは緩・急斜面で縁取られている。調査地標高T. P. +11.86mである。

既往地質資料によれば、調査地付近の低地の地質は沖積層、沖積層下位に基盤の上総層群王禅寺層が層序している。調査地では1.5mの埋土下に沖積層を5.1m、埋没段丘の相模層群下末吉層を0.7m確認し、その下位G. L. -7.3m以深に基盤の上総層群を確認した。なお、沖積層は軟弱粘性土と基底砂からなり、下末吉層は有機質粘土、基盤層は泥岩である。

土質試験結果

深 度 (m)	土 質 名	N値	G _s	F _c	D ₅₀	WL	WP	I P
2	OH	1	2.492	76	0.0100	169.0	77.3	91.7
3	Pt	0	2.194	97	0.00646	238.1	96.2	141.9
5	OH	0	2.387	92	0.00456	303.6	165.5	138.1
6	SM	3	2.673	21	0.178			

総合柱状図

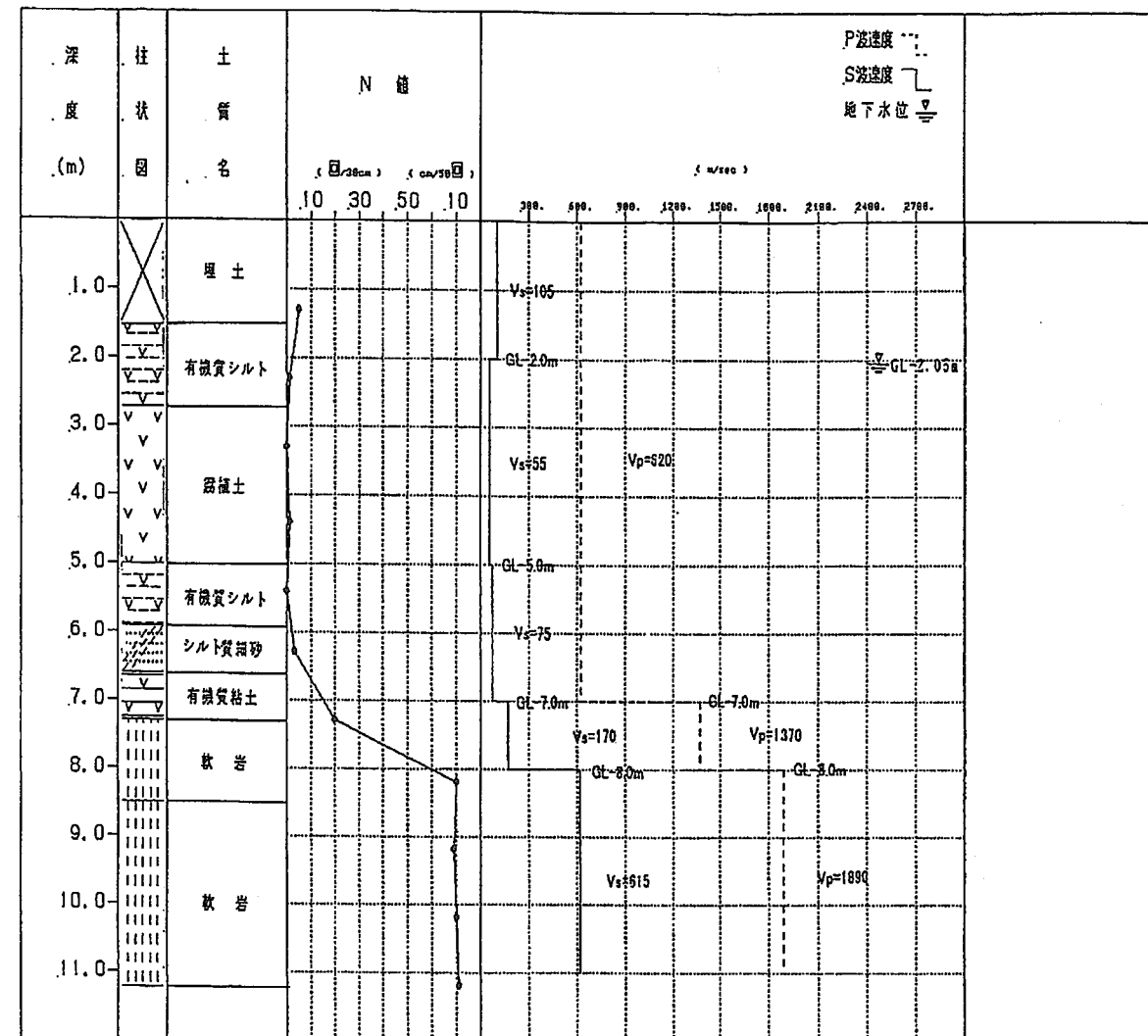


図5-3 150箇所地震計設置に際して行われたボーリング調査結果記録

旧汀線の位置を図5-4に示す。

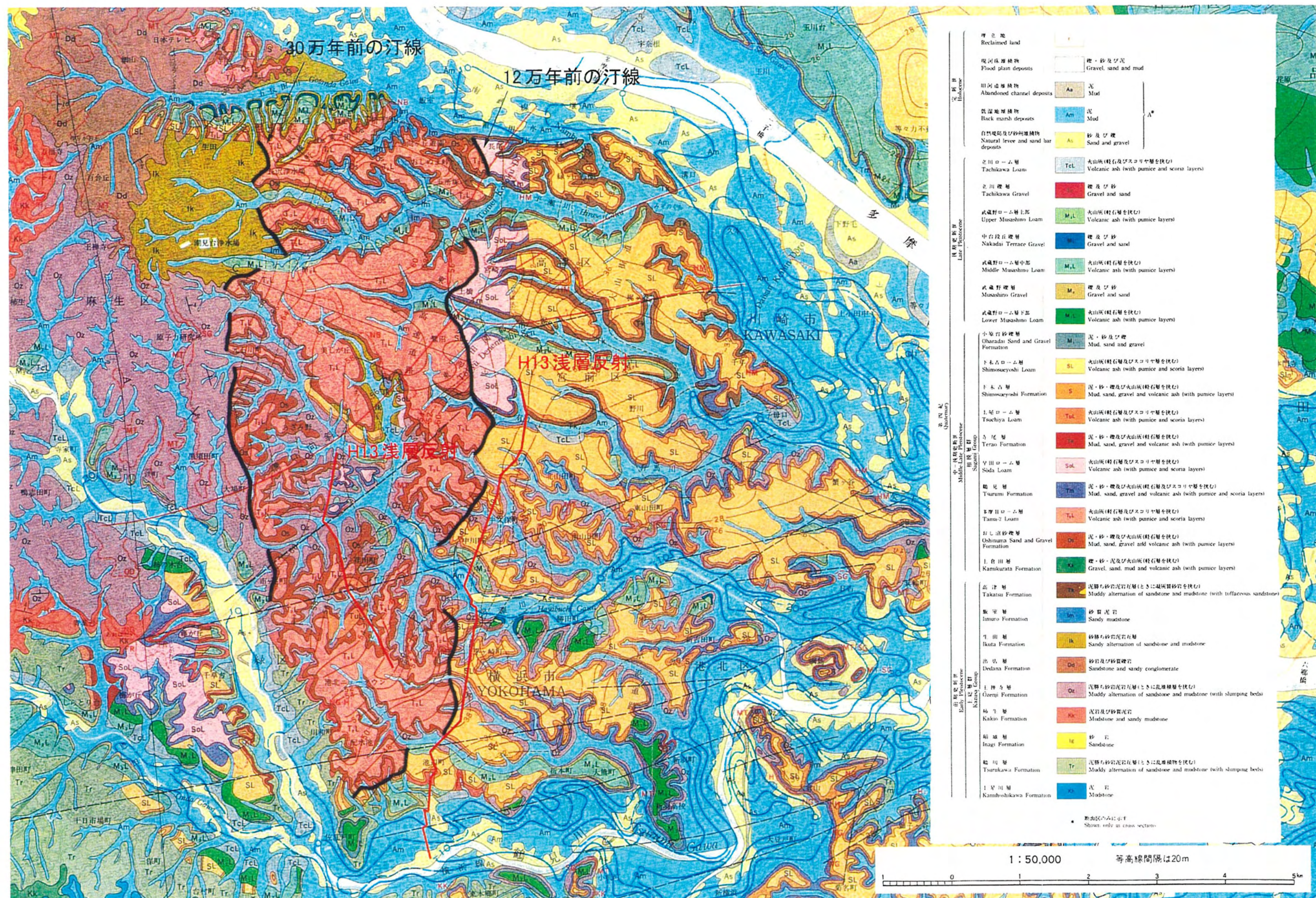


図5-4 旧汀線の位置および平成13年度浅層反射法探査測線位置関係

横浜市のボーリングデータベースからボーリング位置図を図5-5に示す。図中の小さな青点がボーリング地点である。

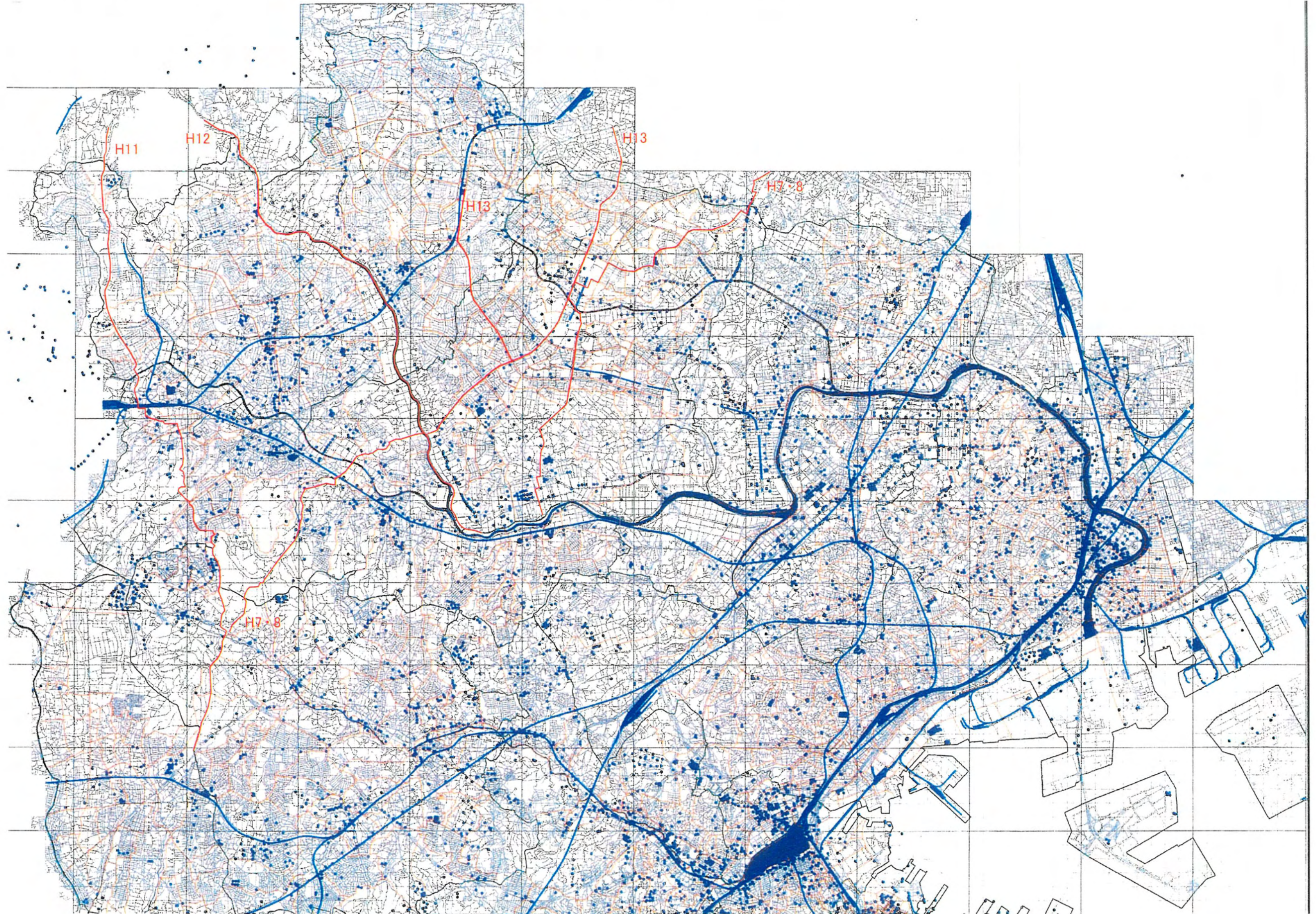


図5-5 横浜市下水道局のボーリングデータベースより引用したボーリング位置図

図5-5に地質図と撓曲帯を重ね書きしたものを図5-6に示す。



図5-6 横浜市ボーリングデータベースと地質図および撓曲帯の関係図

6. 地質踏査の課題

地形・地質調査のうち現地踏査は以下の目的で実施する。

- ①机上で検討した結果の現地での確認と地形・地質発達過程を推定するための調査
②必要に応じてテフラ、微化石を採取し分析を行う
③次年度以降の調査計画立案に必要な現地情報の収集

今回の調査対象地域は、大規模な開発が進み露頭条件が悪いが、机上で検討した結果を現地において確認すること、および周辺の地形・地質発達過程をイメージするために現地踏査は不可欠である。

また、必要に応じて簡単な手法で土のサンプリングを行い、テフラ分析、微化石分析等を実施して、年代対比や層序対比の資料とする。さらに、今年度の調査で撓曲が新しい地層にまで変形を及ぼしていることが判れば、次のステップとて、活動度、再来間隔、最終活動時期を求める必要が出てくる。その場合 200m 級の柱列ボーリング調査等、新たな調査が必要となることから、候補地の予察をおこなう。

7. 浅層反射法探査結果を取り入れた総合解析

別途実施される浅層発射法探査の結果を取り入れて、平成 11 年、平成 12 年の深部調査結果も踏まえて、段差構造、撓曲構造の関係や活動性について検討を行う。

8. 工程

項 目	11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
資料収集															
地形解析															
ボーリングデータベース調査															
地形面の対比															
現地踏査（その1）															
浅層反射法探査結果検討															
総合解析															
現地踏査（その2）															
次年度計画作成															
報告書作成															
打合せ・協議															
委員会															

平成 13 年度
第 2 回 横浜市地下段差構造委員会資料
(総合解析中間報告)

平成 13 年 12 月 27 日

横浜市総務部災害対策室

文献資料調査のまとめ—段差構造と更新統の地質構造との関係について—

1. 既往調査結果のまとめ

既往調査の結果をまとめると、以下のようになる。

- ① 5測線について実施された弾性波探査結果の内、2測線については基盤から上位層に連続する大きな段差構造が認められた。
- ② 他方の3測線については、一部で基盤あるいは上位層に撓曲構造が認められるが基盤から上位層に連続するような大きな段差構造は認められない。
- ③ 弾性波探査と同時に実施した強震計観測および微動アレイ観測データによる解析結果は弾性波探査結果とよく整合している。

以上の結果から、各深度断面の対比を行った結果、図1に示すようにほぼ東西方向に段差構造が連続することが明らかとなった。

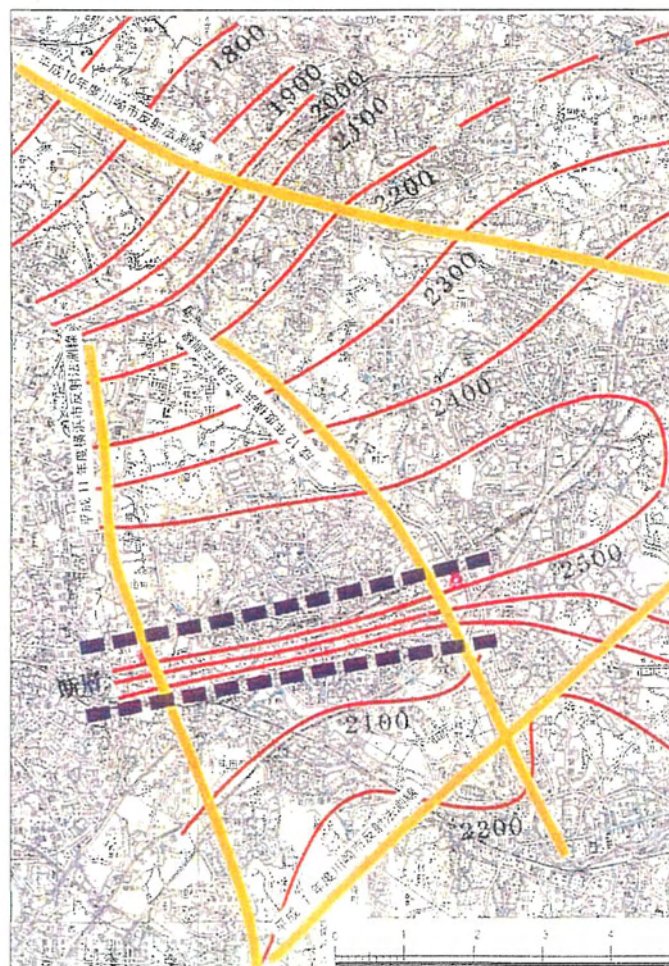


図1 横浜市北部における基盤面分布図

2. 段差構造延長部付近に分布する更新統地質の分布状況

図2に段差構造延長部付近に分布する地質図を示す。

当地域の北部には図2に示すように東北東－西南西走向の鶴川撓曲がみられ、その南部には鶴川撓曲とほぼ平行に延びる溝口向斜、さらに南部には向斜軸に平行に分布する南落ち正断層が多数分布する。

ボーリングコアおよび露頭観察による柱状図の対比は多数行われているものの、上総層群については鍵層の上下関係についてまとめられており、海拔標高の側方変化については不明である。上総層群より上位の相模層群の一部については地層の出現深度について海拔標高の側方変化をまとめている。いずれも南部に行くにつれて標高が低くなっているが南落ち正断層の変位によるものかどうかについては現在のところ不明である。また、断層の累積活動による地層の傾動変化や変位量等についてはデータが少なく精度も低いことから判然としない。

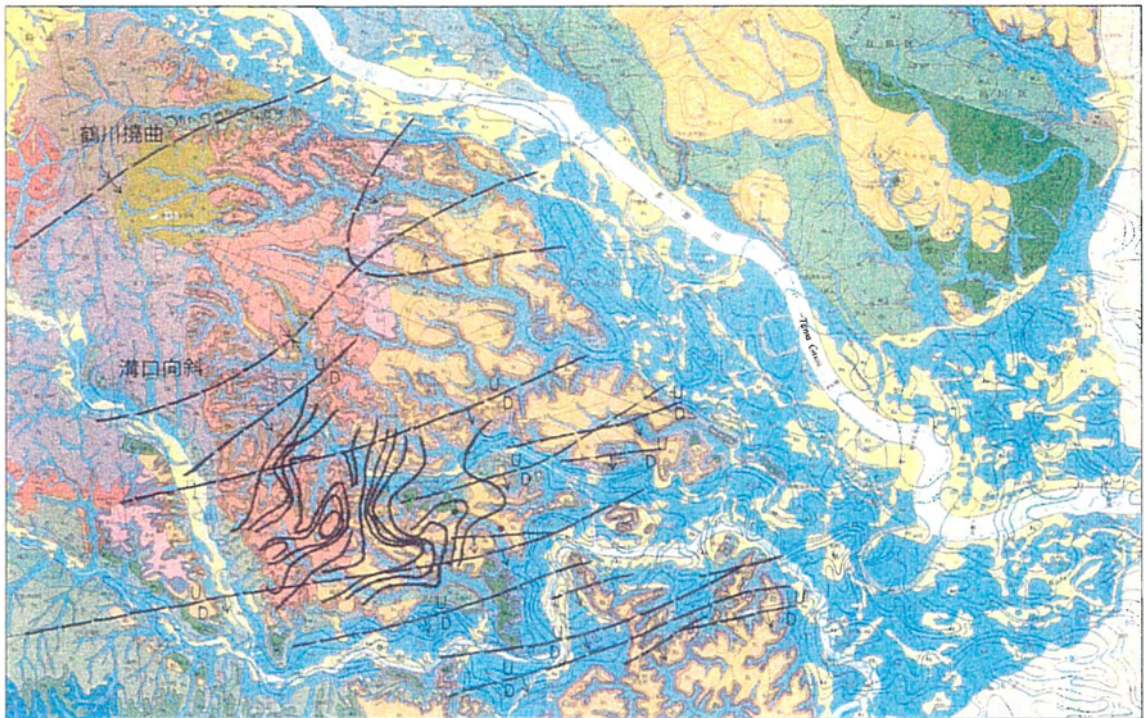


図2 段差構造延長部付近の地質図

3. 段差構造と更新統の地質構造との関係

弾性波探査結果と地質構造を併せると段差構造による上位層の撓曲の延長は溝口向斜の南翼部に当たることから、段差構造の延長部付近の地質構造としては図3に示すように向斜軸の南翼部では地層は南落ちの正断層によって変位を被りながらも地層の構造としては北西方向に傾動しているものと考えられる。

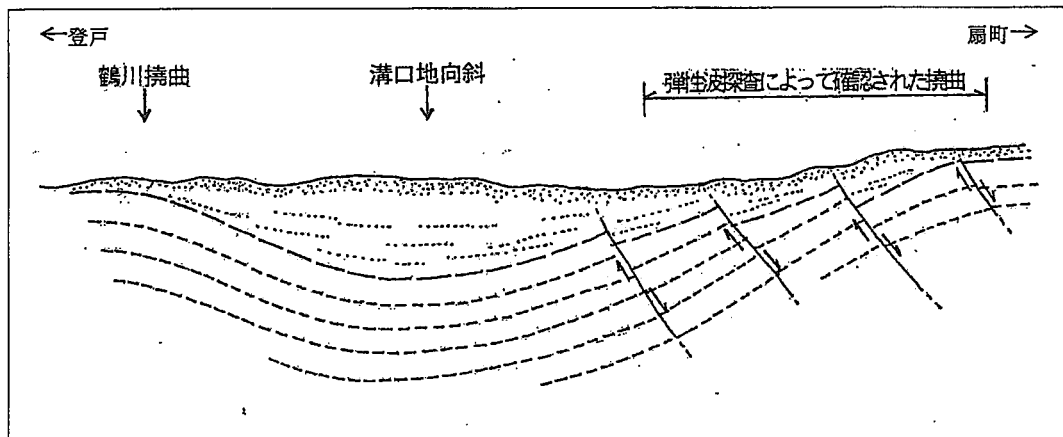


図3 横浜市北部付近の地質構造

従って、段差構造の延長部としてはほぼ東西の走向で溝口向斜の南翼部に分布しているものと考えられるが、既往の文献資料からは細部の傾動状況について情報を得ることはできなかった。

一方、段差構造の延長部付近では図2に示すようにローム層基底部の標高が段差構造の延長方向に平行に変化している。この変化については、段差構造と何らかの関係にある可能性がある。

平成 13 年度
第 2 回 横浜市地下段差構造委員会資料
(総合解析中間報告)

平成 13 年 12 月 27 日

横浜市総務部災害対策室

横浜市北部地域の地下構造に関する既往調査の結果概要

○既往調査の概要

横浜市北部地域の地下構造については、川崎市麻生区、高津区および横浜市青葉区、緑区、都筑区付近を中心に反射法弾性波探査、強震計観測および微動アレイ観測が実施されている。

これらの解析結果により、横浜市北部地域の地下にはほぼ東西方向に延びる段差構造が存在することが判明した。

横浜市北部地域の地下構造については、以下の調査、解析が実施されている。

- ① 川崎市，1996，平成 7 年度地震調査研究交付金－立川断層に関する調査成果報告書－
- ② 川崎市，1999，平成 10 年度川崎市地下構造調査成果報告書
- ③ 川崎市，2001，平成 12 年度川崎市地下構造調査成果報告書
- ④ 横浜市，2000，平成 11 年度地震関係基礎調査交付金－関東平野（横浜市地域）の地下構造調査成果報告書－
- ⑤ 横浜市，2001，平成 12 年度地震関係基礎調査交付金－関東平野（横浜市地域）の地下構造調査成果報告書－

○反射法弾性波探査結果

反射法弾性波探査は第 1 図に示すように横浜市北西部付近で 5 測線について実施されている。

これらの内、最も顕著な段差構造としては横浜市が実施した 2 測線にみられる。いずれも先新第三系基盤岩が 500m 程度北西側に落ち込んだ構造を示しており、さらに上位の三浦層群および上総層群が同方向に撓曲している構造を呈している（第 2 図～第 6 図）。

川崎市の実施した 3 測線については、基盤岩および上位層の変位が数ヶ所について認められるものの、変位が大きくなおかつ基盤より上位層まで連続した段差構造は認められない。

○強震計観測および微動アレイ観測結果

強震計観測および微動アレイ観測については、平成 11 年～平成 12 年にかけて横浜市が実施している。強震計観測点，強震観測点，解析に使用した地震の諸元および微動アレイ観測点を第 7～9，12 図に示す。

第 10，11，13 図は反射法弾性波探査，強震計観測および微動アレイ観測データの解析結果を重ね合わせたものである。いずれのデータも基盤面深度については概ね一致しているが特に反射法弾性波探査結果と微動アレイ観測結果はよく整合しており、反射法弾性波探査により推定した地下構造はいずれも確度が高いものと云える。

○横浜市北部における基盤面の分布

既往の調査結果をまとめ、横浜市北西部における深度断面を対比すると第 14 図のようになる。基盤から上位層まで変位の連続する明らかな段差構造は G－H および E－F 測線で認められている。その他の測線については一部に撓曲や凸状構造が認められるものの基盤より上位層に連続する大きな段差構造は認められない。

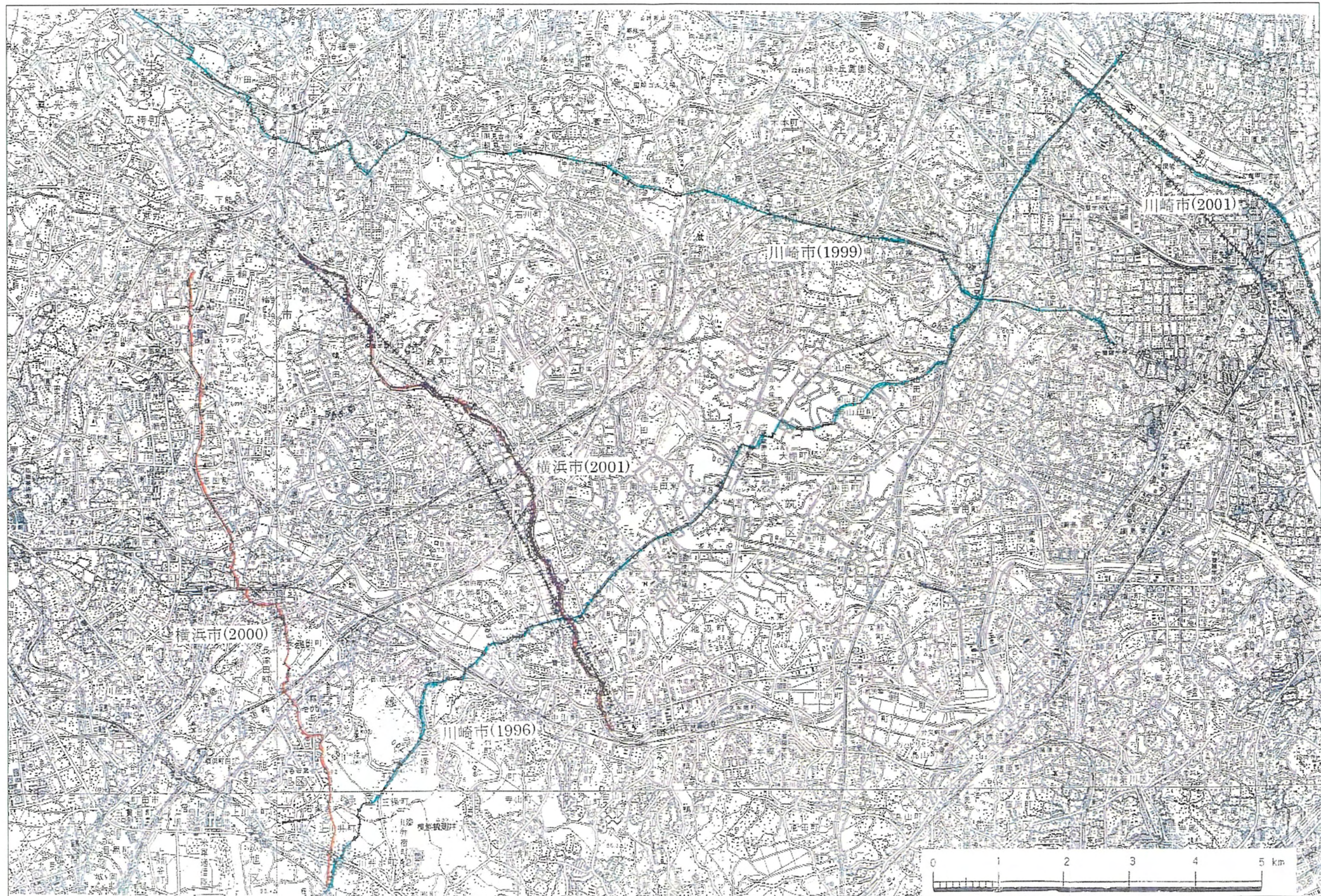
従って現状では第 15 図に示すように町田市成瀬が丘より横浜市都筑区荏田に至るほぼ東西方向の北落ち断層が想定されている。

なお、明瞭な段差構造の認められない 3 測線にみられる変位構造については、表 1 に示すようなアノマリー（a～e）と称し、断層の延長部となっている可能性のある地域としてまとめられている。

表 1 3 測線にみられる変位構造

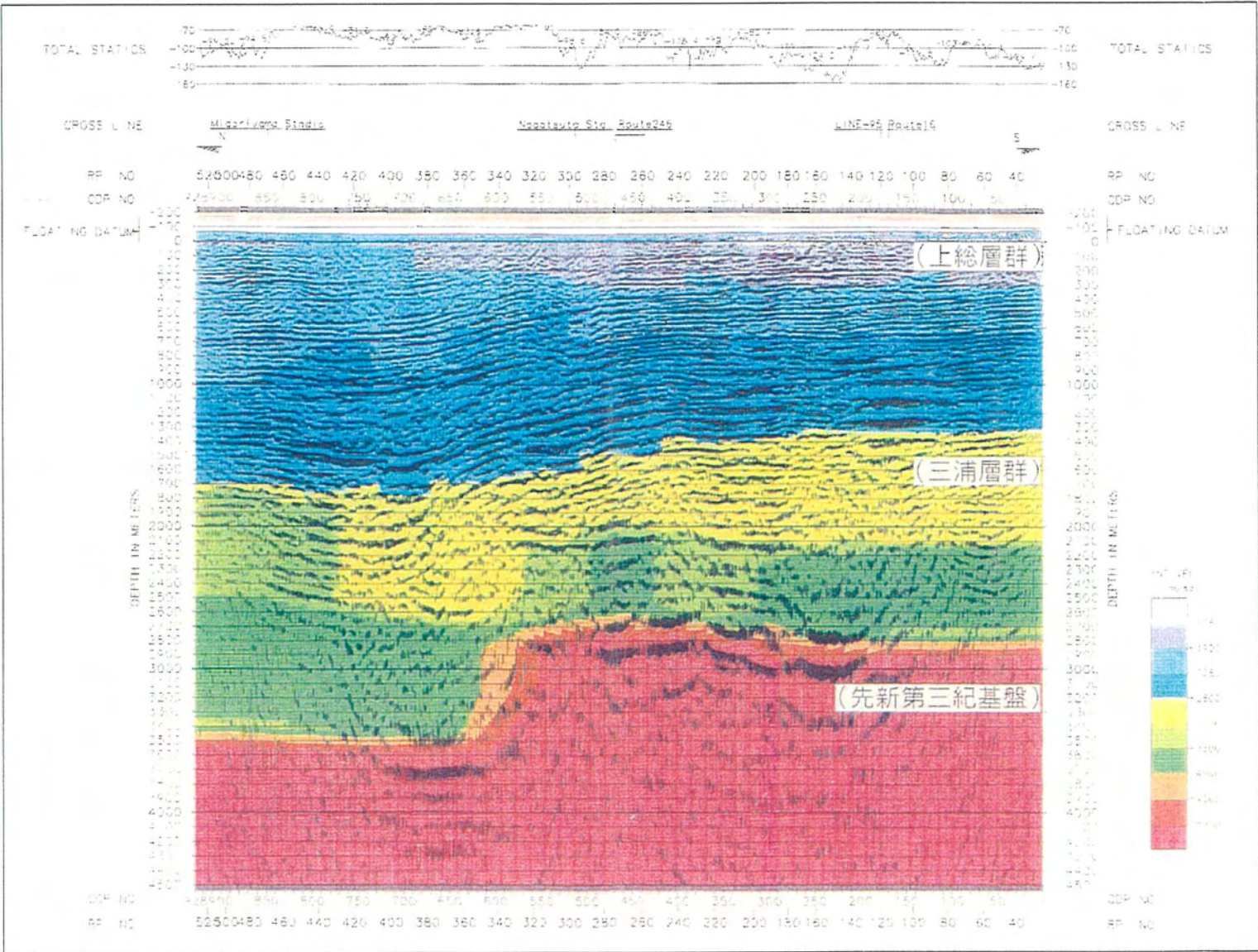
名 称	地 域	性 状
アノマリー a	川崎市麻生区上麻生	上総層群下部における凸状構造
アノマリー b	川崎市高津区梶ヶ谷	上総層群上部～下部における北西落ち撓曲
アノマリー c	川崎市高津区末長	上総層群の北東落ち撓曲，基盤の南西落ち撓曲
アノマリー d	川崎市中原区小杉町	基盤の南東落ち撓曲，断裂？
アノマリー e	横浜市都筑区川和町	三浦層群中部～基盤における北東落ち撓曲，断裂？

1. 反射法弾性波探査測線位置図

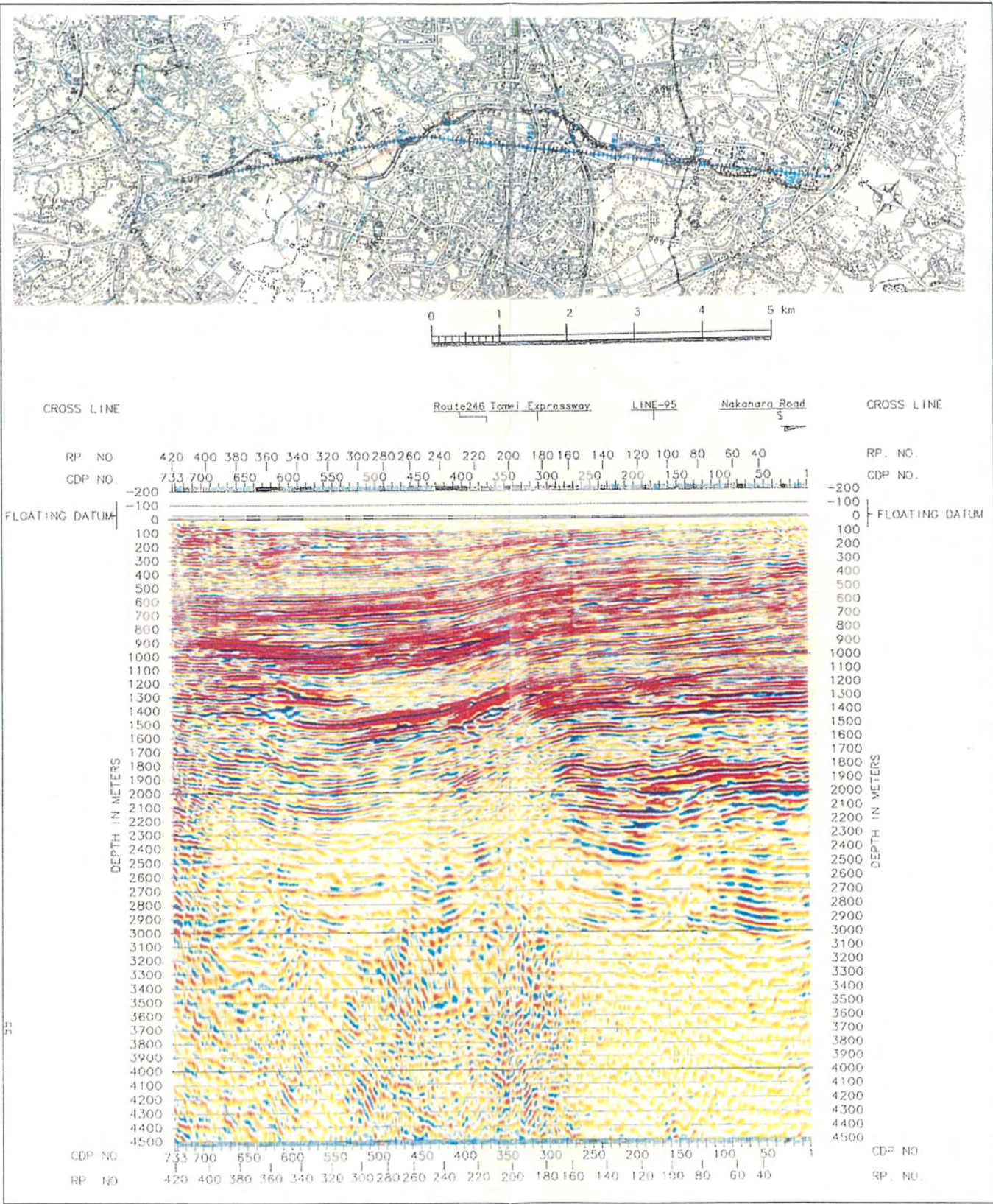


第1図 反射法弾性波探査測線位置図

2. 弾性波探査結果（深度断面図）

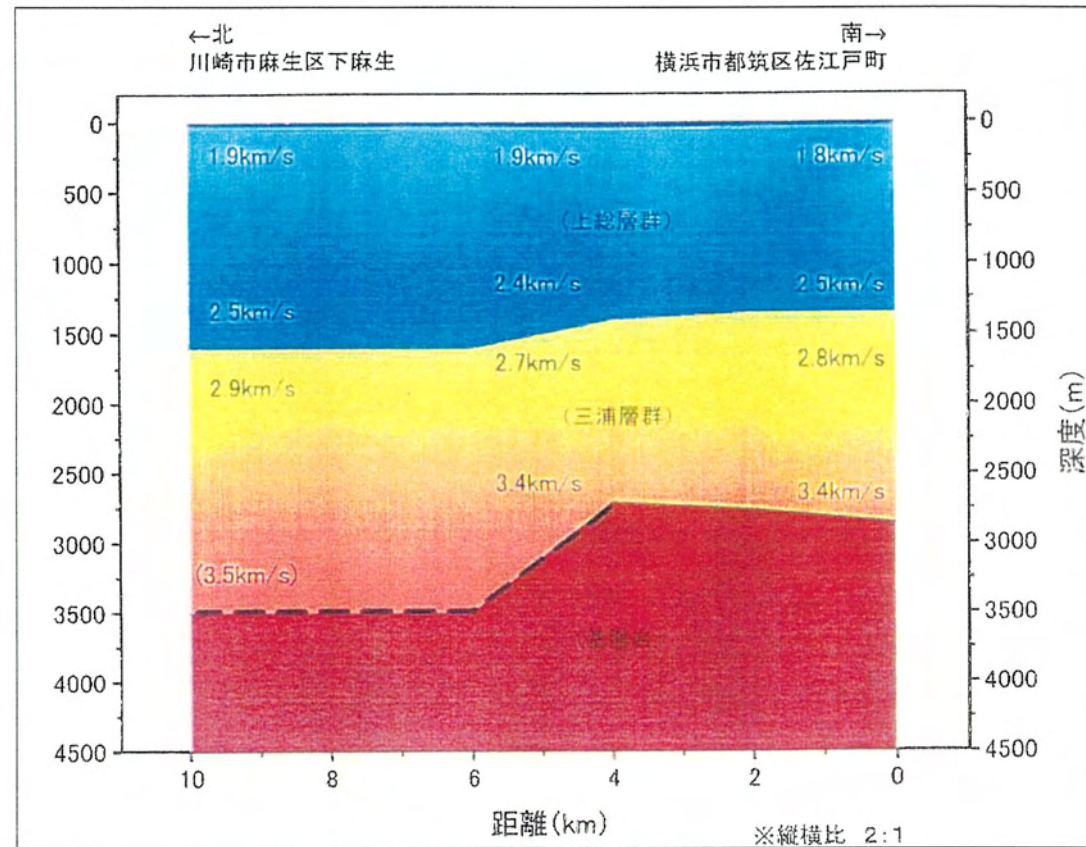


第2図 深度断面図（横浜市，2000）

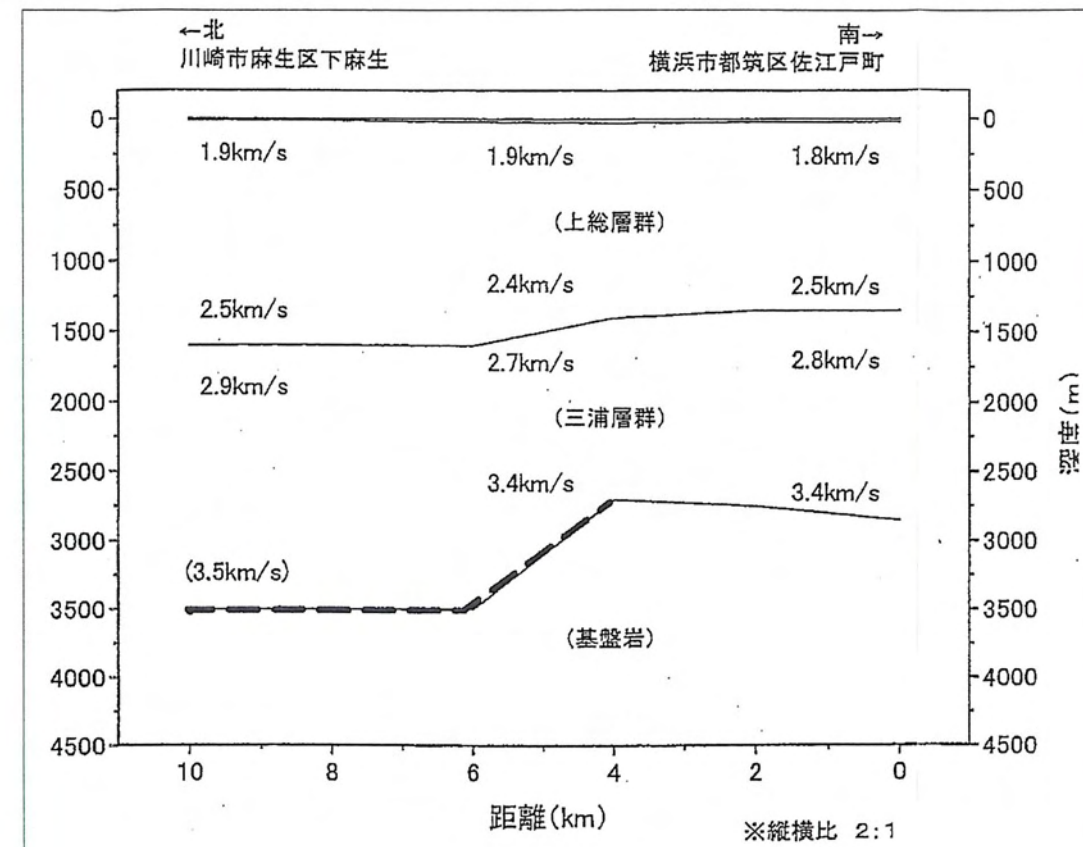


第3図 深度断面図（横浜市，2001）

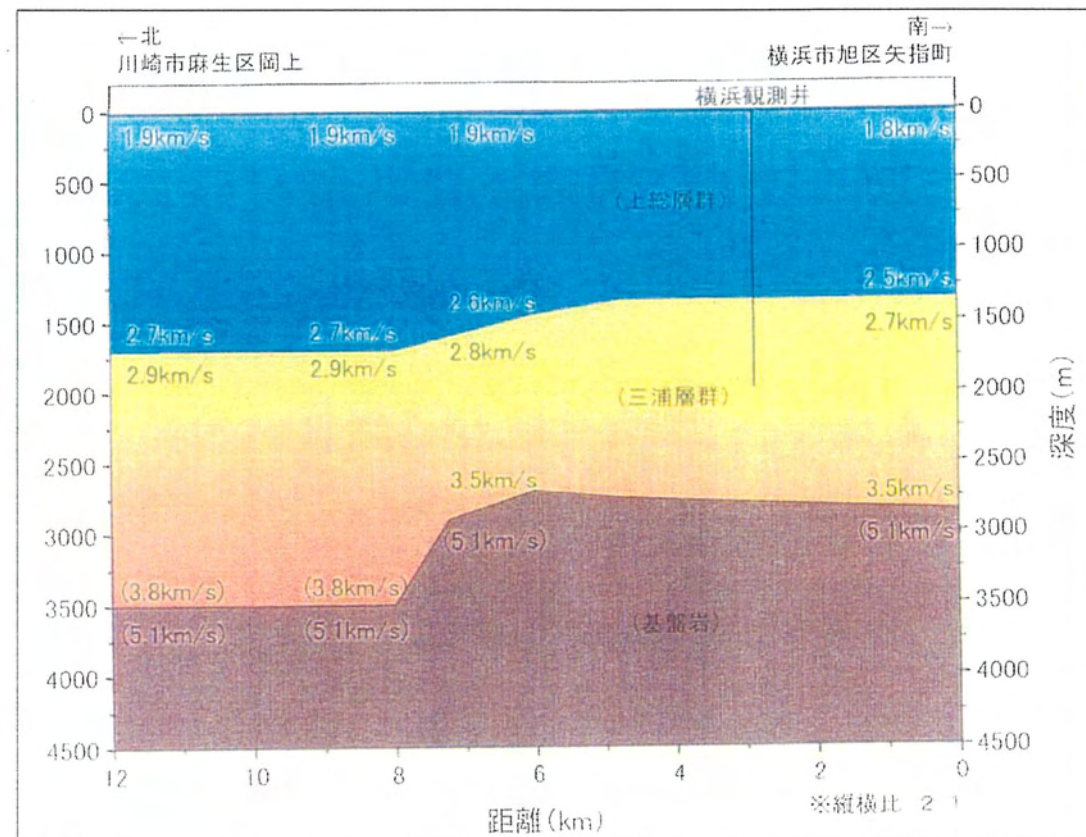
3. 2次元速度モデル



第4図 二次元速度モデル（横浜市：2000）

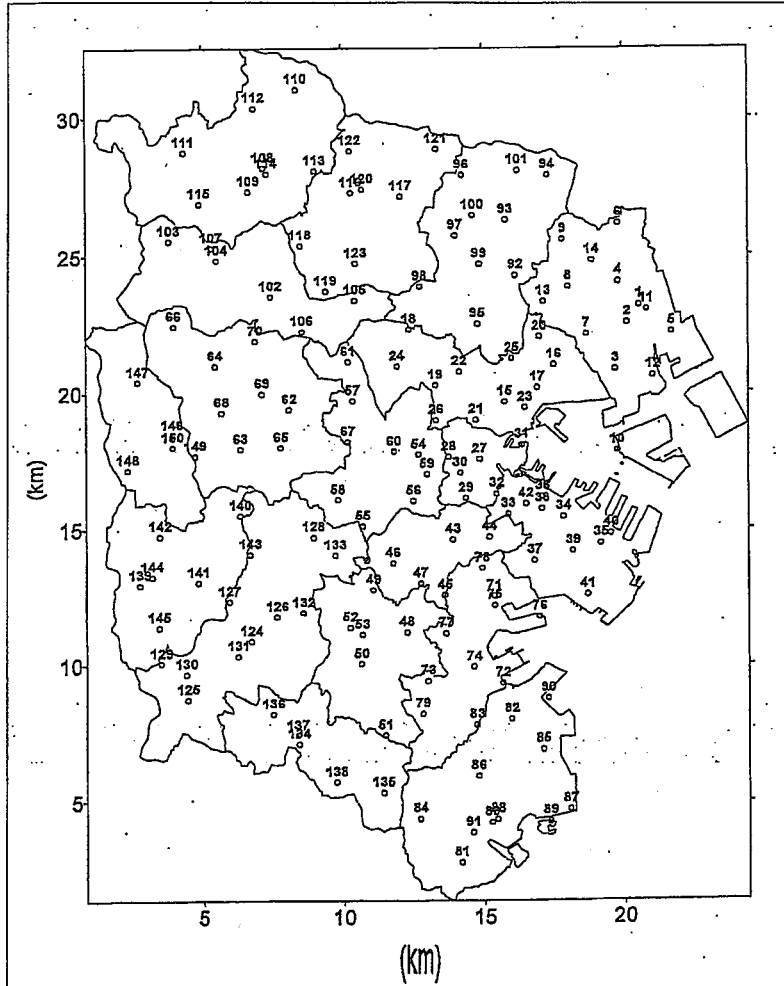


第5図 二次元速度モデル（横浜市：2001）



第6図 二次元速度モデル（横浜市：2000 および横浜市：2001）の比較

4. 強震観測点



第7図 強震観測点位置図

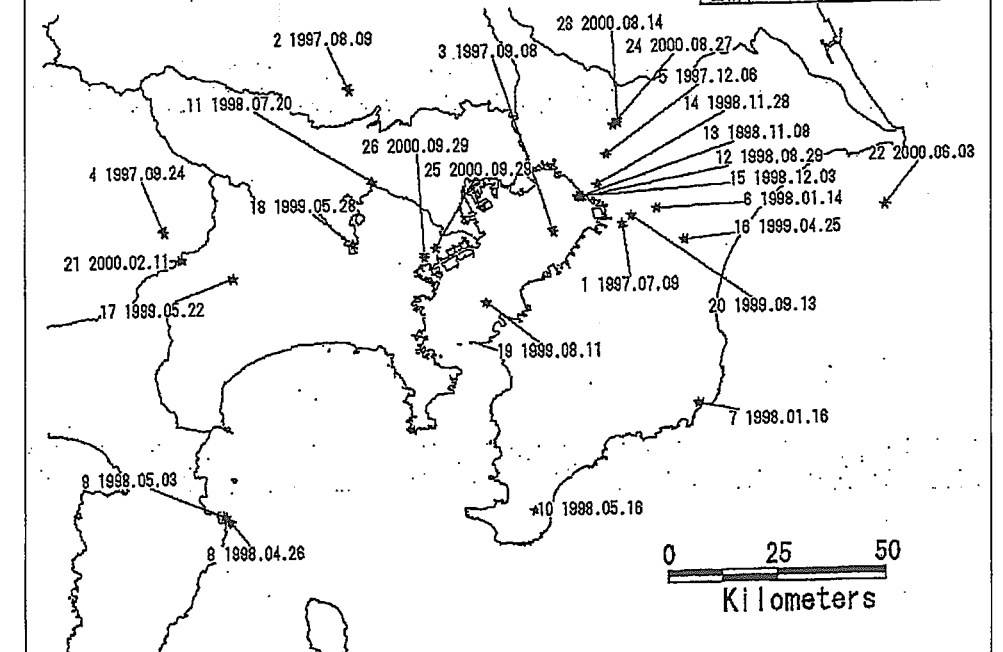
第1表 強震観測点緒言

表 2-4-1 強震観測点諸元

ファイル名	地震計番号	施設名	経度	緯度	ファイル名	地震計番号	施設名	経度	緯度
tr01d	1	鶴見消防署	139.68552	35.50553	is06t	76	南部下水処理場	139.54627	35.40249
tr02s	2	生麦消防出張所	139.68066	35.49973	is07e	77	汐見台小学校	139.60963	35.39702
tr03s	3	大黒町消防出張所	139.67601	35.48432	is08e	78	電頭小学校	139.62367	35.41959
tr04s	4	栄吉消防出張所	139.67723	35.5133	is09e	79	岸光台第四小学校	139.60049	35.37026
tr05s	5	入船消防出張所	139.68819	35.49681	tz01d	80	金沢消防署	139.62731	35.33453
tr06s	6	矢向消防出張所	139.6772	35.53232	kz02s	81	六浦消防出張所	139.61536	35.32144
tr07s	7	厚谷消防出張所	139.66498	35.49602	kz03s	82	東富岡消防出張所	139.63519	35.36855
tr08s	8	寺尾消防出張所	139.65782	35.51168	kz04s	83	富岡消防出張所	139.62152	35.36671
tr09s	9	駒岡消防出張所	139.65573	35.52712	kz05s	84	荻利谷消防出張所	139.59926	35.33571
tr10s	10	鶴見水上消防出張所	139.6767	35.45744	kz06s	85	幸浦消防出張所	139.64764	35.35854
tr11g	11	鶴見土木事務所	139.68822	35.50412	kz07s	86	龍見台消防出張所	139.62208	35.34972
tr12t	12	北部第二下水処理場	139.69062	35.48227	kz08f	87	横張ヘリポート	139.65819	35.33879
tr13e	13	岸光台小学校	139.64816	35.50679	kz09g	88	金沢土木事務所	139.62942	35.33551
tr14f	14	栄吉中学校	139.66709	35.52029	kz10p	89	八景島	139.65035	35.33494
kg01d	15	神奈川消防署	139.6328	35.47373	kz11p	90	金沢マリナ	139.64967	35.37545
kg02s	16	入江町消防出張所	139.65225	35.48589	kz12u	91	市立大学	139.63719	35.51554
kg03s	17	浦島消防出張所	139.64565	35.47839	kh01d	92	港北消防署(合庁)	139.63333	35.53367
kg04s	18	菅田消防出張所	139.69537	35.49761	kh02s	93	鶴島消防出張所	139.63333	35.53367
kg05s	19	片倉消防出張所	139.60574	35.47926	kh03s	94	日吉消防出張所	139.65	35.5482
kg06s	20	松見消防出張所	139.64648	35.49512	kh04s	95	篠原消防出張所	139.62218	35.49955
kg07f	21	市民防災センター	139.62154	35.46778	kh05s	96	高田消防出張所	139.61625	35.54942
kg08g	22	神奈川土木事務所	139.61494	35.48371	kh06s	97	新羽消防出張所	139.61364	35.5286
kg09t	23	神奈川下水処理場	139.64068	35.47184	kh07s	98	小机消防出張所	139.5975	35.51185
kg10e	24	羽沢小学校	139.59073	35.48552	kh08g	99	港北土木事務所	139.62293	35.51919
kg11e	25	白根小学校	139.63554	35.48812	kh09e	100	新吉田小学校	139.62045	35.53527
kg12n	26	三ツ沢公園	139.606	35.48771	kh10e	101	駒林小学校	139.63813	35.54982
ns01d	27	西消防署	139.6228	35.45478	md01d	102	藤消防署(合庁)	139.54132	35.50858
ns02s	28	海間町消防出張所	139.61086	35.45553	md02s	103	長津田消防出張所	139.5011	35.5268
ns03s	29	境之谷消防出張所	139.61748	35.44188	md03s	104	十日市場消防出張所	139.51997	35.52048
ns04g	30	西土木事務所	139.61527	35.45024	md04s	105	鶴島消防出張所	139.57438	35.50732
ns05p	31	臨港パーク	139.6395	35.45957	md05s	106	白山消防出張所	139.55358	35.49898
ns06n	32	市町公舎	139.62944	35.44329	md06g	107	緑土木事務所	139.51788	35.52448
na01d	33	中消防署	139.63412	35.43663	ab01d	108	青葉消防署	139.63857	35.50688
na02s	34	山手消防出張所	139.65581	35.43568	ab02s	109	藤が丘消防出張所	139.53278	35.54302
na03s	35	北方消防出張所	139.67029	35.42681	ab03s	110	元石川消防出張所	139.55165	35.57836
na04s	36	山下消防出張所	139.64771	35.44232	ab04s	111	鶴島田消防出張所	139.50718	35.55688
na05s	37	山元消防出張所	139.64439	35.42108	ab05s	112	すすき野消防出張所	139.53499	35.57027
na06g	38	中土木事務所	139.64741	35.43825	ab06s	113	荻田消防出張所	139.55882	35.54978
na07e	39	大島小学校	139.65942	35.4242	ab07g	114	青葉土木事務所	139.53994	35.54888
na08p	40	本校通園	139.67413	35.43004	ab08e	115	横が丘小学校	139.51324	35.53905
na09n	41	本校市民公園	139.6652	35.40884	td01d	116	都筑消防署(合庁)	139.573	35.54257
na10e	42	市役所	139.64107	35.43991	td02s	117	藤田消防出張所	139.59243	35.54144
mi01d	43	市役所	139.61241	35.4282	td03s	118	川和消防出張所	139.55303	35.52523
mi02s	44	中村消防出張所	139.62653	35.429	td04s	119	佐江戸消防出張所	139.56295	35.51036
mi03s	45	大岡消防出張所	139.60926	35.40967	td05g	120	都筑土木事務所	139.5774	35.54376
mi04s	46	六ツ川消防出張所	139.58894	35.42025	td06s	121	山田小学校	139.60635	35.55694
mi05g	47	南土木事務所	139.59975	35.41354	td07e	122	中川西小学校	139.57266	35.55628
kn01d	48	港南消防署	139.59425	35.3973	td08e	123	都田小学校	139.57473	35.51948
kn02s	49	岸が谷消防出張所	139.68124	35.41139	td09d	124	戸塚消防署	139.53348	35.3943
kn03s	50	野原消防出張所	139.57648	35.38886	td10s	125	大正消防出張所	139.50823	35.37507
kn04s	51	港南台消防出張所	139.58571	35.38322	td11s	126	吉田消防出張所	139.54353	35.40243
kn05s	52	上永谷消防出張所	139.57215	35.39886	td12s	127	島が丘消防出張所	139.52467	35.40752
kn06g	53	港南土木事務所	139.57686	35.39544	td13s	128	東戸塚消防出張所	139.55757	35.42883
hd01d	54	消防局庁舎	139.59902	35.45831	td14s	129	深谷消防出張所	139.49776	35.3869
hd02s	55	梅太坂消防出張所	139.57714	35.43255	td15f	130	消防訓練センター	139.50766	35.38343
hd03s	56	本陣消防出張所	139.59698	35.44093	td16g	131	戸塚土木事務所	139.52823	35.38934
hd04s	57	西谷消防出張所	139.57341	35.47407	td17e	132	鶴岡小学校	139.5538	35.40375
hd05s	58	今井消防出張所	139.56747	35.44122	td18e	133	平塚小学校	139.56637	35.4229
hd06g	59	保土ヶ谷土木事務所	139.60235	35.44975	sk01d	134	栄消防署	139.55191	35.36032
hd07e	60	仏向小学校	139.58944	35.45724	sk02s	135	上郷消防出張所	139.58491	35.34431
hd08j	61	上菅田中学校	139.57169	35.4869	sk03s	136	豊田消防出張所	139.54196	35.37014
as01d	62	旭消防署	139.54845	35.47118	sk04g	137	豊田土木事務所	139.55147	35.36301
as02s	63	さちが丘消防出張所	139.5293	35.46809	sk05e	138	荻台小学校	139.56661	35.34768
as03s	64	都筑消防出張所	139.51931	35.48563	iz01d	139	泉消防署	139.48862	35.41298
as04s	65	南本宿消防出張所	139.54517	35.45864	iz02s	140	緑園消防出張所	139.52915	35.43611
as05s	66	若葉台消防出張所	139.50293	35.49874	iz03s	141	中田消防出張所	139.51256	35.4138
as06s	67	市沢消防出張所	139.5715	35.46044	iz04s	142	いすみ野消防出張所	139.49736	35.42916
as07s	68	今宿消防出張所	139.52179	35.47016	iz05s	143	鶴岡消防出張所	139.53301	35.42311
as08g	69	旭土木事務所	139.53785	35.47631	iz06g	144	泉土木事務所	139.49433	35.41576
as09e	70	大池小学校	139.53536	35.49379	iz07e	145	下和泉小学校	139.49708	35.39887
is01d	71	磯子消防署	139.82838	35.40939	sy01d	146	瀬谷消防署	139.50226	35.4628
is02s	72	磯子水上消防出張所	139.83173	35.38054	sy02s	147	中瀬谷消防出張所	139.48898	35.48043
is03s	73	岸光台消防出張所	139.60253	35.38117	sy03s	148	下瀬谷消防出張所	139.485	35.45129
is04s	74	杉田消防出張所	139.82051	35.38589	sy04s	149	阿久和消防出張所	139.51131	35.45581
is05g	75	磯子土木事務所	139.82863	35.40623	sy05g	150	瀬谷土木事務所	139.50243	35.45866

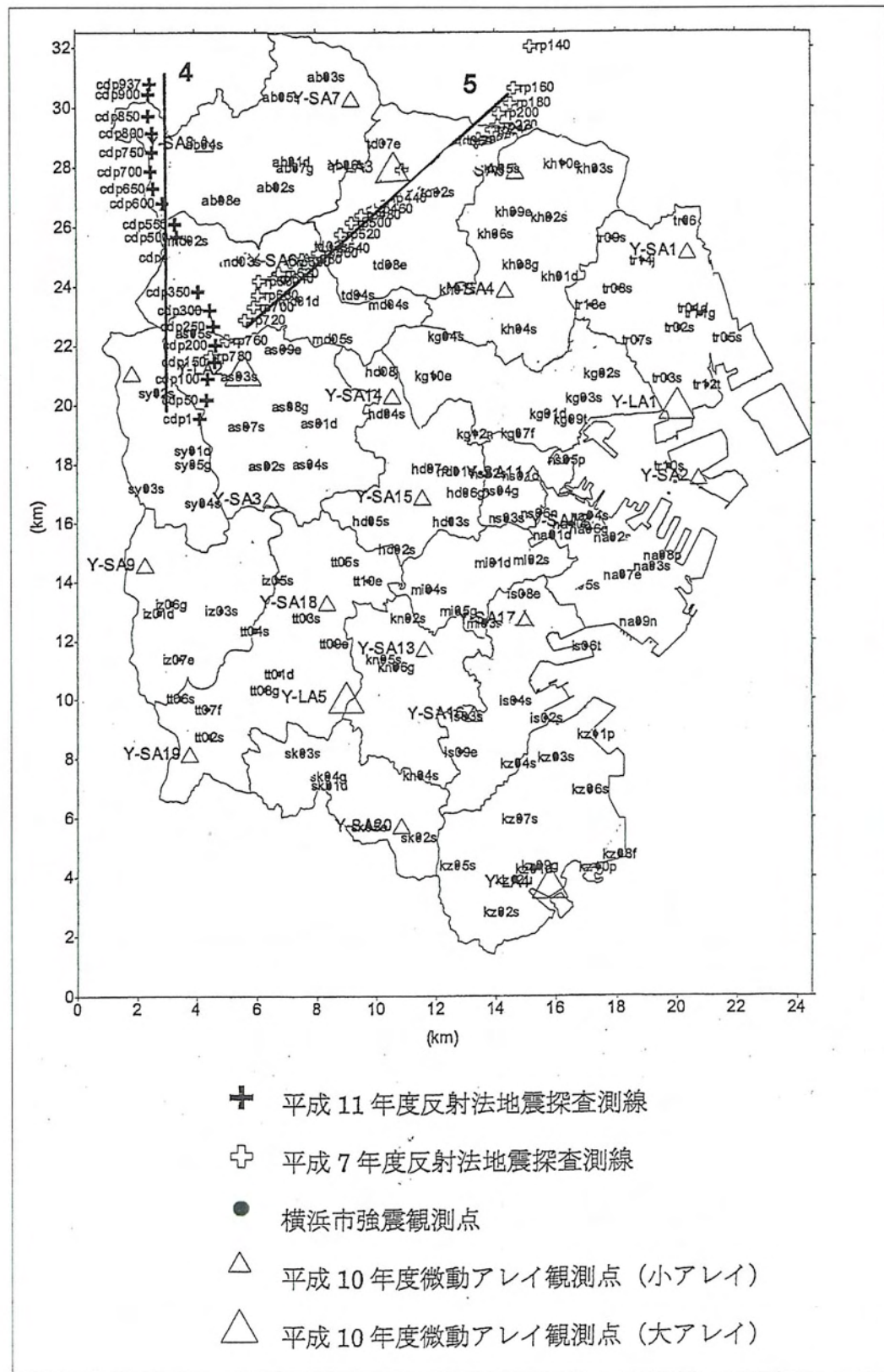
表 2-4-2 解析に使用した地震の諸元

年月日	時分秒	震央位置	震央(度)	北緯(度)	深度(km)	規模	P波読み取り	S波読み取り
1 1997.07.09	18 36 18.19	千葉県北西部	140.156	35.555	074.3	M5.3	145	145
2 1997.08.09	05 34 49.16	埼玉県南部	139.474	35.838	065.9	M5.0	137	138
3 1997.09.08	08 40 38.91	東京湾	139.984	35.539	107.7	M5.4	145	145
4 1997.09.24	07 02 38.81	山梨県東部	139.004	35.546	021.2	M4.1	46	44
5 1997.12.06	15 40 47.23	千葉県北部	140.119	35.898	051.1	M4.7	56	
6 1998.01.14	02 17 8.77	千葉県中部	140.244	35.584	073.1	M5.2	147	148
7 1998.01.16	10 57 55.40	千葉県南部	140.345	35.182	057.3	M4.8	147	147
8 1998.04.26	07 37 36.64	伊豆半島東方沖	139.161	34.954	008.8	M4.8	136	
9 1998.05.03	11 09 5.45	伊豆半島東方沖	139.164	34.961	008.9	M5.1	137	
10 1998.05.18	03 45 6.25	千葉県南部	139.931	34.968	068.2	M4.8	147	149
11 1998.07.20	10 43 28.92	東京都	139.529	35.645	025.1	M3.7	119	121
12 1998.08.29	08 46 42.78	千葉県中部	140.055	35.609	063.6	M5.4	149	146
13 1998.11.08	21 40 44.78	千葉県北西部	140.052	35.611	075.5	M4.9	150	150
14 1998.11.28	00 22 58.67	千葉県北西部	140.095	35.635	082.0	M4.6	143	144
15 1998.12.03	05 15 37.92	千葉県北西部	140.046	35.612	064.3	M4.4	141	139
16 1999.04.25	18 13 11.93	千葉県北西部	140.312	35.519	088.9	M4.7	141	142
17 1999.05.22	09 48 15.73	神奈川県西部	139.177	35.450	019.4	M4.3	139	147
18 1999.05.28	12 11 6.51	神奈川県東部	139.4796	35.5169	36.3	M3.4	71	73
19 1999.08.11	18 27 55.28	東京湾	139.810	35.395	080.4	M4.0	127	134
20 1999.08.13	07 56 47.52	千葉県北西部	140.179	35.571	072.6	M5.2	148	150
21 2000.02.11	20 57 42	千葉県北西部	140.136	35.49	15	M4.6	149	149
22 2000.06.03	17 54 46.7	千葉県北東部	140.819	35.584	70	M5.4	119	96
23 2000.08.14	16 33 46.1	千葉県北西部	140.15	35.793	81.3	M4.4	104	110
24 2000.08.27	08 42 12.3	千葉県北西部	140.136	35.759	81.2	M4.6	111	124
25 2000.09.29	08 56 8.6	神奈川県	139.886	35.506	91.5	M4.9	137	144
26 2000.09.29	09 55 59.0	東京湾	139.66	35.488	89.2	M4.2	94	105
合計							3285	2988

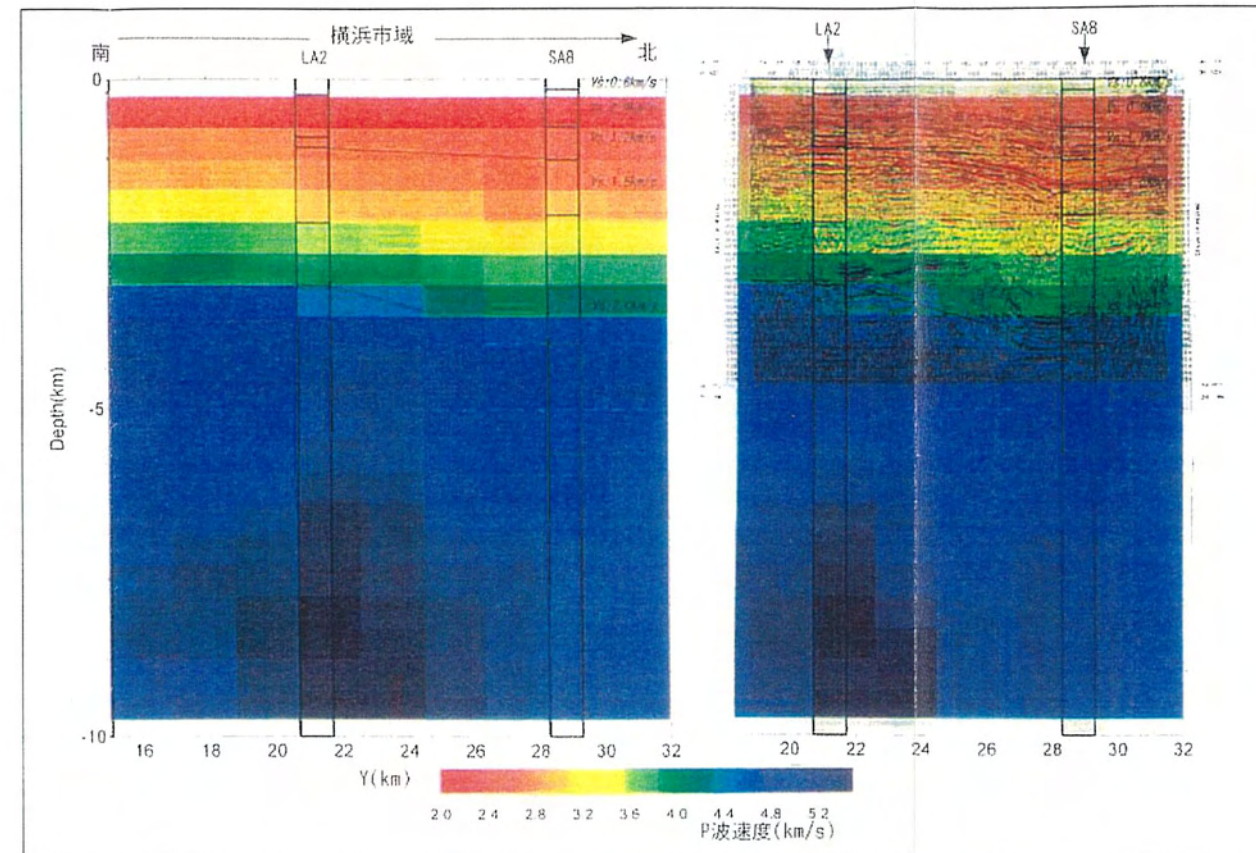


第8図 解析に私用した地震の緒言

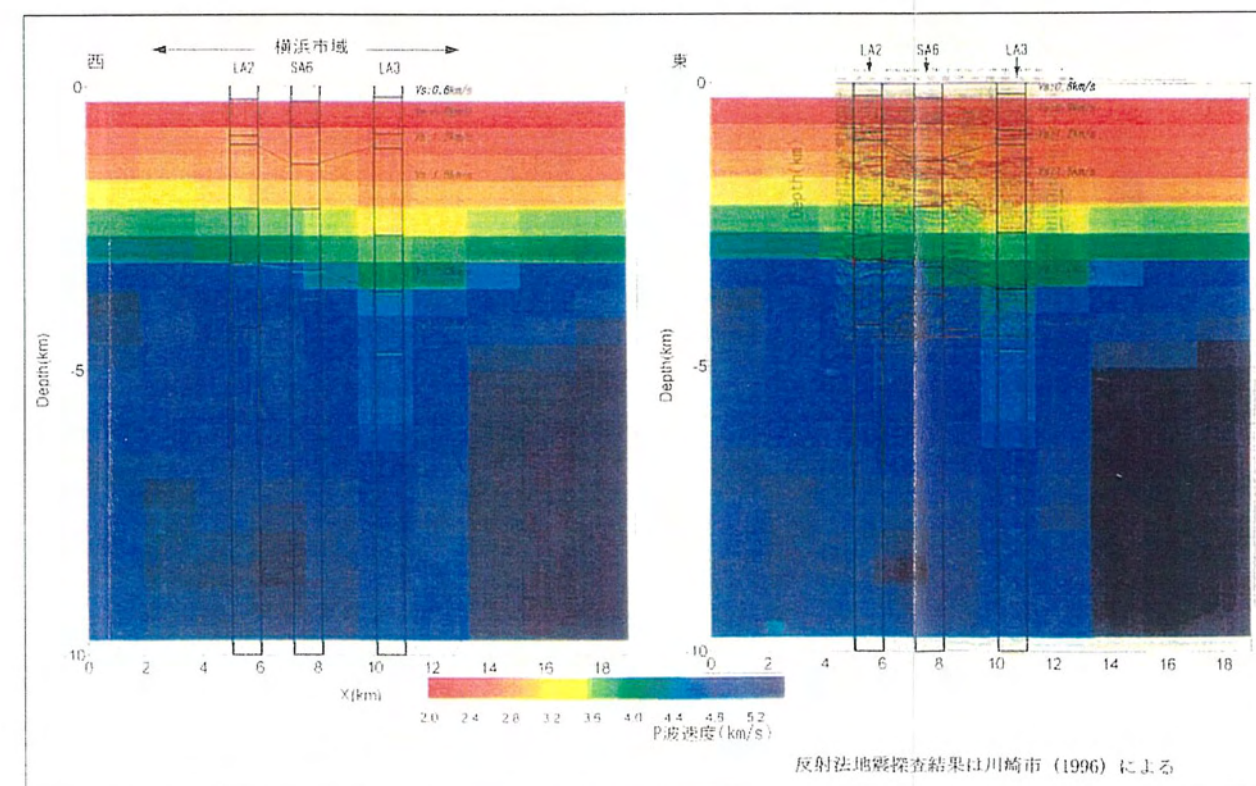
5. 各種物理探査手法結果の比較（平成 11 年度）



第 9 図 既存物理探査測線位置図



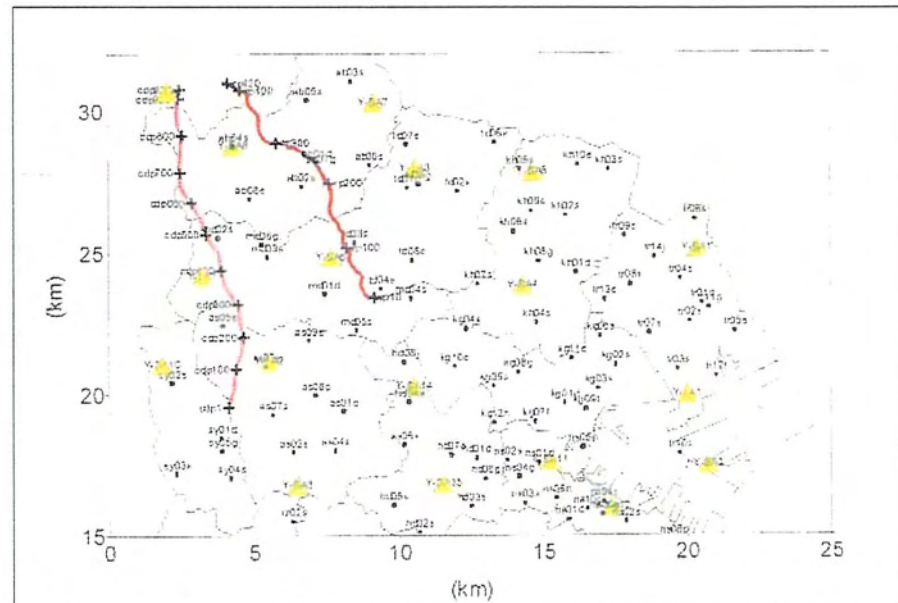
第 10 図 各種物理探査手法結果の比較（平成 11 年度反射法地震探査測線）



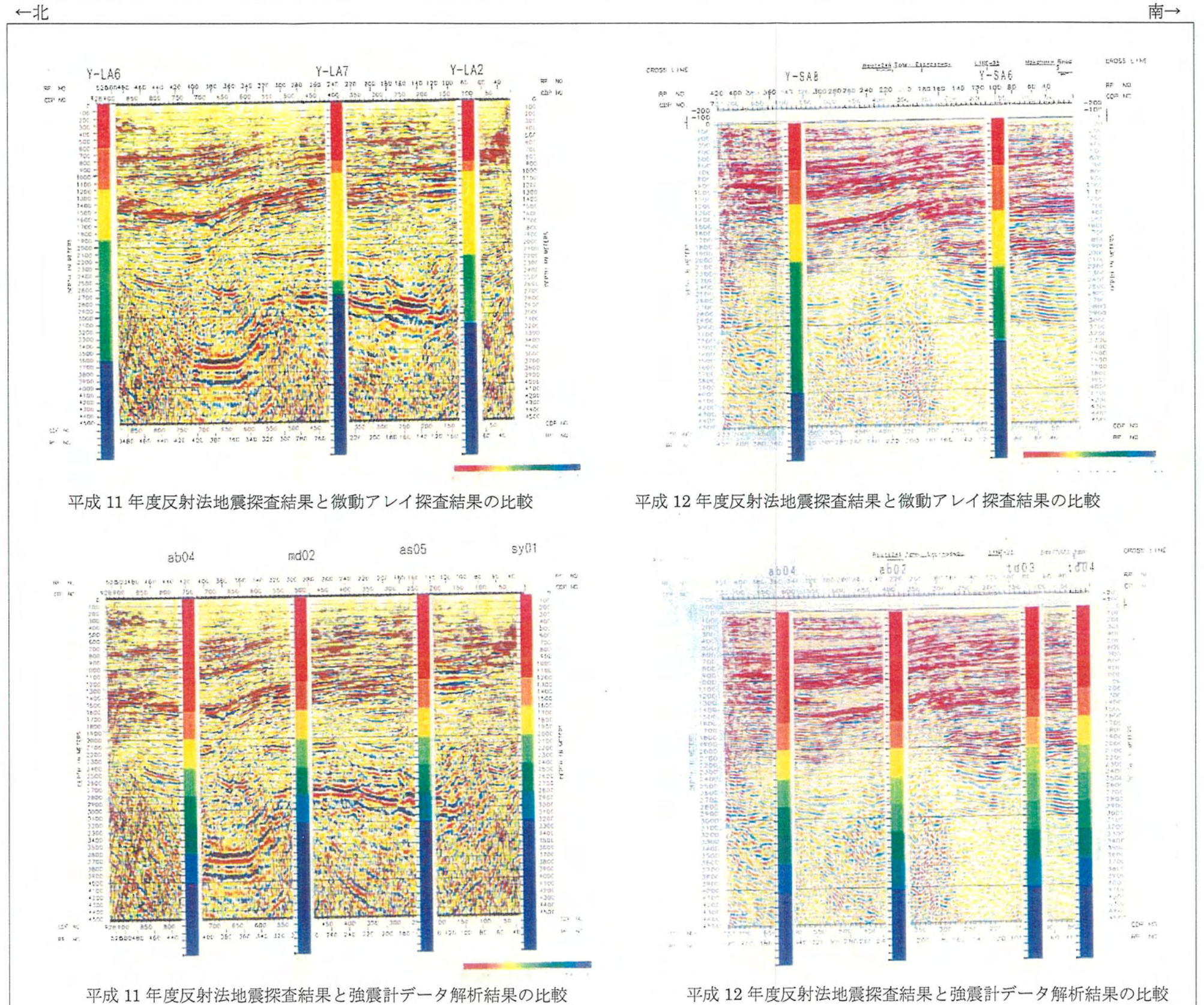
第 11 図 各種物理探査手法結果の比較（平成 7 年度反射法地震探査測線）

注) 深度断面は強震動観測結果，黒柱状図は微動アレイ観測結果によるもの。

6. 各種物理探査手法結果の比較 (平成 12 年度)

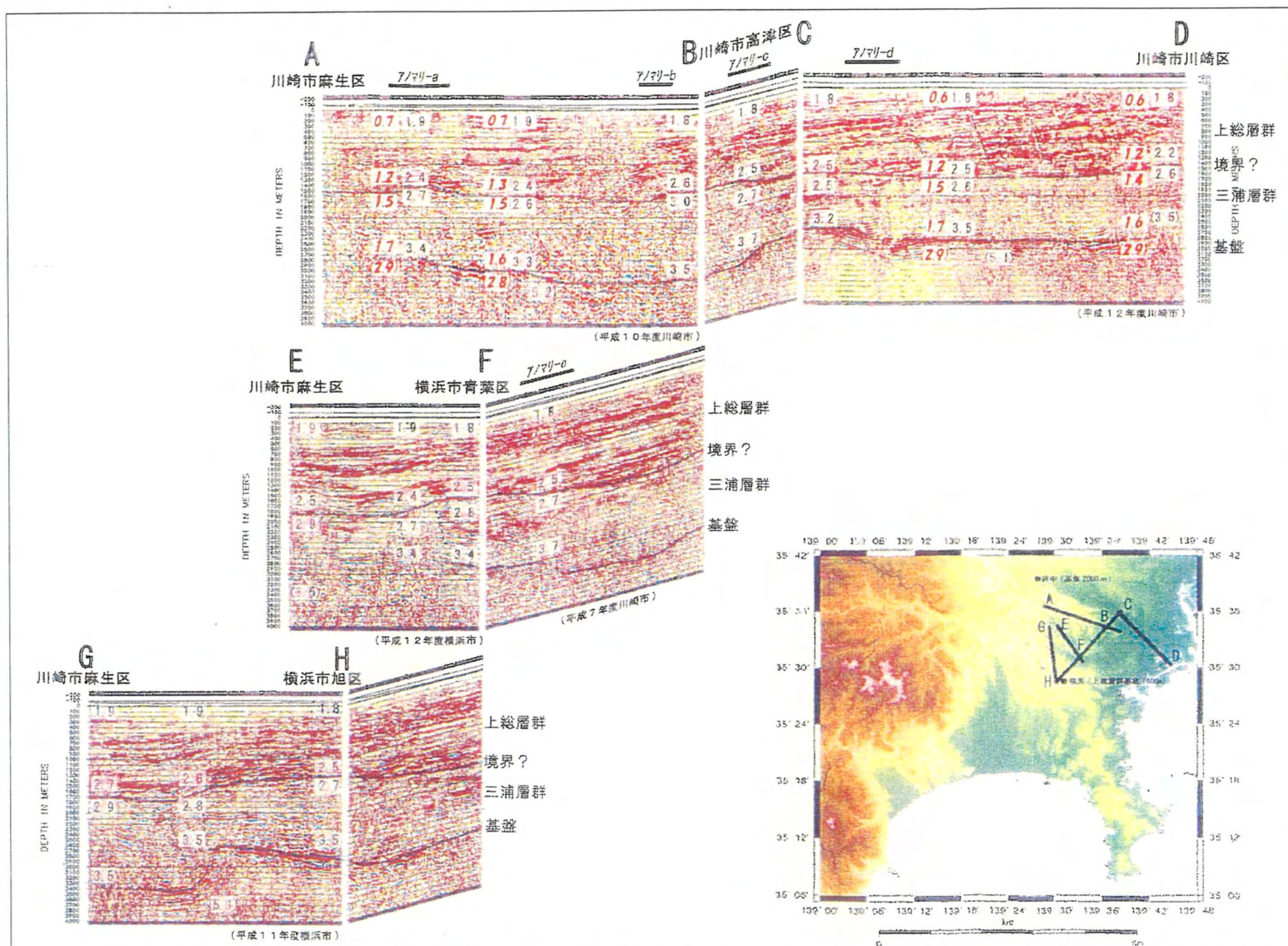


第 12 図 平成 11, 12 年度反射法地震探査測線およびその周辺の強震動観測点・微動アレイ探査測点

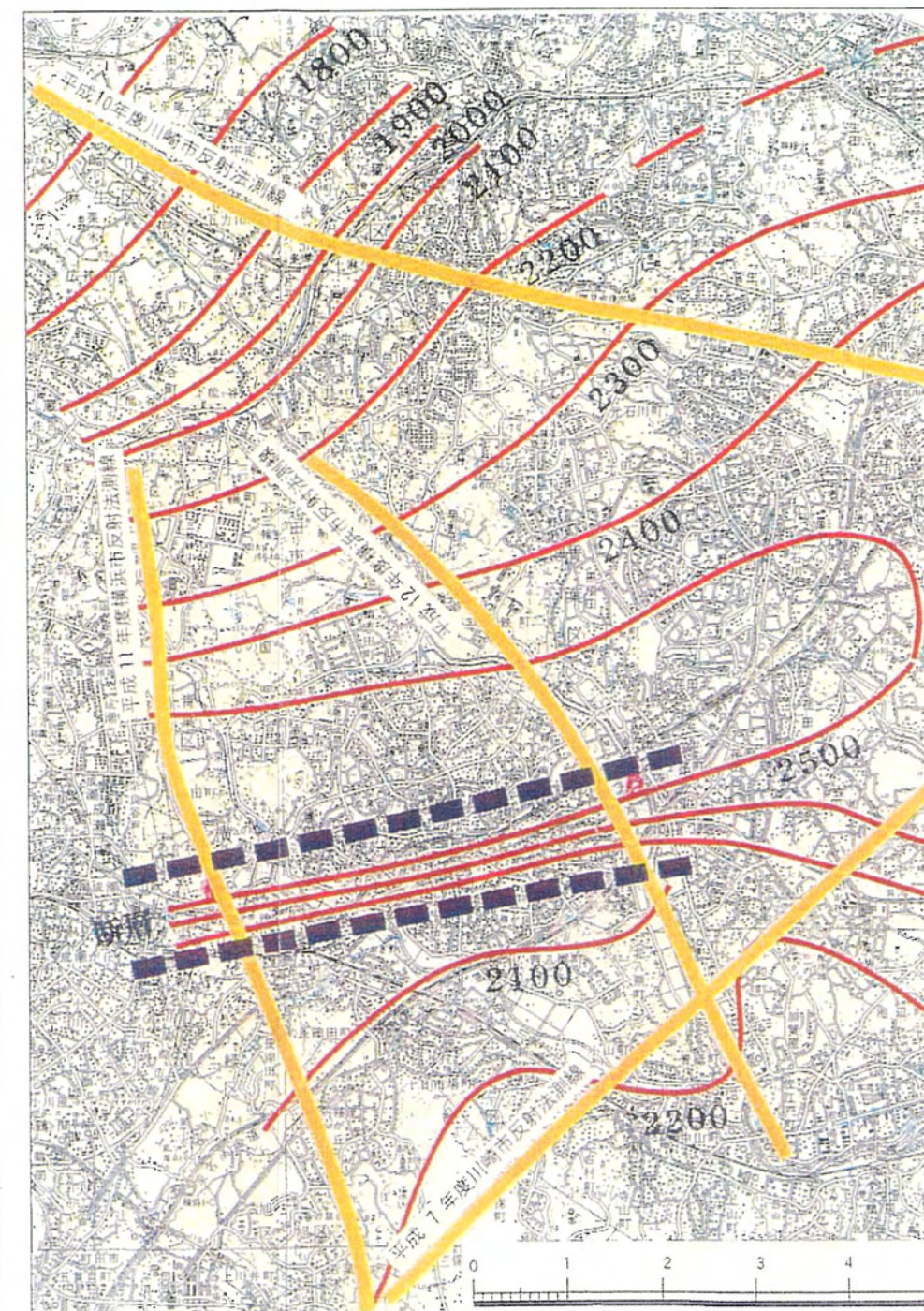


第 13 図 反射法地震探査結果と各種探査結果の比較 (カラーバーは S 波速度を示す)

7. 横浜市北部における基盤面の分布



第14図 関東平野南西部における深度断面の対比 (細数字がP波速度, 太数字がS波速度, 単位はkm/s)
(平成11, 12年度横浜市測線, 平成7, 10, 12年度川崎市測線)



第15図 横浜市北部における基盤面分布図 (時間 ms)